

SAPIX	5年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 14回『割合(1)』 15回『総合(11~14)』 16回『割合(2)』 17回『割合(3)』		
家庭学習ポイント	<p>「割合」中心の1ヶ月になります。第14回では小数と分数の関係、変換から始まり、割合の基本を学習します。小数、分数、百分率、歩合による割合の表し方、3用法の計算のしかたの練習が続きます。応用問題では「割合の割合」「使った後の残りに対する割合」など入試問題でも定番の問題を演習します。第15回は総合回です。サピックスのカリキュラムは「スパイラル」と呼ばれ、同じ単元を期間をおいて何度も学習するという事になっていますが、次に出てくるときには同じ単元でも難度が上がっています。つまり「今しっかり理解を深めて身につけておく」ことが大切です。この「総合」の機会を有効に使いましょう。第16回では、割合を使った文章題(相当算)を学習します。ただ習ったことを漫然と「再現」するのではなく、テキストの「和相当」「差相当」「残りに対して」といったキーワードが何を表すのか、考えながら取り組むことが大切です。第17回は割合の3回目、売買損益に関する問題です。「原価(仕入れ値)・定価・売り値・利益(儲け)」といった言葉の理解に始まり「売れないから結局値引く」といった入試問題頻出パターンまで一通り習います。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	小数⇔分数の変換がスピーディーにできていますか？	チェック
	解決策	すべてを「□/10」「□/100」といった形にしなくてもできるものもあることを押さえておこう	□
	チェック2	「全体(もともになる数)が1」という考え方が腑に落ちていますか？	チェック
	解決策	割合を「～倍」と考えると、もとの数に1以外の数をかけると別の数になることがわかります	□
	チェック3	基礎トレにコンスタントに取り組んでいますか？	チェック
	解決策	総合回以外の有効な「過去の復習ツール」として基礎トレは貴重です	□
	チェック4	割合の問題では「もとにして考える数」がどんどん変化していくことが腑に落ちていますか？	チェック
	解決策	相当算をマスターする重要な要素になります	□
	チェック5	「商売の仕組み」を理解していますか？	チェック
解決策	「100円で買ったものを110円で売るから儲けが(10円)出る」(売り値は $100 \times 1.1 = 110$ 円)ですね	□	
SAPIX	5年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 14回 コトノハ/どうせぼくなんて 物語文 15回 コトノハ/考えることをやめない 論説文 16回 知の冒険/かたことの文からの卒業 物語文 17回 コトノハ/ジュンブライド 説明文		
家庭学習ポイント	<p>第14回のA授業のテーマは「劣等感」です。算数が苦手なで頑張っているがうまくいかない、そんな主人公の心情を「色あせる」「唇をかむ」といった表現や、場面、描写などから読みとっていきます。また対比(素材文では昔と今)を中心に論説文を読み取る練習も行います。第15回は読解を通して、エネルギー問題を考察することが目標となっています。国語だけでなく理科や社会科にもつながるテーマですね。第16回は助詞、助動詞についての学習です。以前名詞、動詞、形容詞、形容動詞その他の品詞について学習しましたが、それらの品詞を有機的につなげて「かたこと」でない言葉にするのが助詞や助動詞です。入試問題でも頻出の「れる・られる」の4つの用法(受け身・可能・尊敬・自発)、「ない」の3つの使い方(助動詞、形容詞、形容詞の一部)についても詳しく学びます</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	テキストの「読解メソッド」をしっかりと活用できていますか？	チェック
	解決策	解答の傍線などをしっかり見て「納得できる」ところまで考えるようにしましょう	□
	チェック2	B授業の記述部分が空白だらけになっていませんか？	チェック
	解決策	記述はまず「とりあえず書いてみる」ことが大切です	□
	チェック3	Bテキストの記述の「手がかり」を書いていますか？	チェック
	解決策	この作業を意識的に行う(考えるだけでなく書く)ことがとても大切です	□
	チェック4	「れる・られる」の用法「自発」が腑に落ちていますか？	チェック
	解決策	自分にとって「自発」の意味で「れる・られる」を使う状況を考えてみましょう	□
	チェック5	宿題が「解きっぱなし」「丸付けだけ」になっていませんか？	チェック
解決策	必ずテキストの解説を活用し「出題のポイント」を確認するようにしましょう	□	

SAPIX	5年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 14回『ばね～力学②～』 15回『てこ①～力学③～』 16回『呼吸と人体のつくり～人体①～』 17回『消化～人体②～』		
家庭学習ポイント	<p>月前半は物理分野（力学）、後半は生物分野（人体）の学習です。第14回はばねについて学習します。基本として「何も力をかけないときの長さ＝自然長」に、力を加えたときの「のびの長さ」を加えるとばねの全長となることを押さえておきましょう。問題では「のび」を聞かれているのか「全長」を聞かれているのかをうっかり読み落とさないように注意しなければなりません。ばねの伸びと掛かる力の大きさは比例するので「○○g・・・□□cm」と書き出し、掛かる力が何倍になっているかをもとに計算するのが「鉄則」となります。第15回の「てこ」では、あらゆる場面で「モーメント計算」を多用します。「かかる力の大きさ×支点までの長さ」がつり合っているかどうかを計算しますが、支点の位置が間違っていると、そもそも正しい答えが出ません。自分で支点を決めた場合は、それを図に書き込み忘れないように計算に反映しましょう。第16回、17回の人体に関しては、覚えるべきことが盛り沢山ですので、整理して記憶する必要があります。たとえば消化については、三大栄養素がどの消化器官で消化されるかを学びますが、栄養素別に記憶するより「器官別」に記憶するほうが効率よく覚えられます。「口・・・唾液（消化酵素はアミラーゼ）がデンプンを麦芽糖に」「胃・・・胃液（消化酵素はペプシン）がタンパク質をペプトンに」といった具合です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	ばねの問題ではつねに「○○g・・・□□cm」と書き出して比例計算をしていますか？	チェック
	解決策	これは「鉄則」と読んでいい、定番の書き方、整理のしかたです	□
	チェック2	てこの問題では支点の位置に自分で△マークを書き込んでいますか？	チェック
	解決策	かかる力の大きさなども矢印で図に書き込む習慣をつけましょう	□
	チェック3	つねに丸暗記ではなく、他の知識と関連させて覚えられていますか？	チェック
	解決策	呼吸は「酸素と栄養分からエネルギーを取り出す」はたらきですが、光合成の真逆でもあります	□
	チェック4	なぜ食べた食物を消化する必要があるのか、説明できますか？	チェック
	解決策	食べたただけでは「とり入れた」とは言えず、細かく消化して血液中に取り入れるためです	□
	チェック5	「暗記分野」が単なる「丸暗記」だけになっていませんか？	チェック
解決策	問題を解くだけでなくテキストの「テーマ」部分を読み、問題を解いたら解説も活用しましょう	□	
SAPIX	5年		
	社会		
学習内容	6月の学習内容 14回『中国・四国地方のまとめ（2）』 15回『九州地方のまとめ』 16回『東北地方のまとめ』 17回『北海道地方のまとめ』		
家庭学習ポイント	<p>第14階から17回まで、地方別のまとめの学習が続きます。自然と地形、産業を中心に学習していきますが、必ず「白地図トレーニング」などを併用し、自分で白地図に書き込みながら地形と自然環境を把握するようにしましょう。地域別のまとめは17回までで終了し、その後は夏にかけて再度日本の全体像～産業別のまとめ、そして9月からは歴史に入ります。地域別のまとめは6月末までにある程度完成した形で頭に入っている状態にしておきたいですね。（歴史の学習に入っても組分けテストやオープンテストなどには、地理分野が出てくることもあります）またテキストの表紙と表紙裏、「もっと知りたい」などをしっかり読んで活用しておくことで、実力テストに対応できる力、その先の入試での得点力が備わっていくことも意識して学びましょう。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	各地方の学習をする際「白地図トレーニング」などを利用していますか？	チェック
	解決策	山地や河川などを書き込んで平野をイメージし、日本地図上での位置も具体的に把握しましょう	□
	チェック2	山や山地、山脈、河川や平野をばらばらに覚えていませんか？	チェック
	解決策	山、川、平野は一つのまとまりとして「山→山脈→河川→平野」の順に覚えましょう	□
	チェック3	テキストの表紙と表紙裏を活用していますか？	チェック
	解決策	家庭学習に入る前に、必ず目を通す習慣をつけましょう	□
	チェック4	テキストの「テーマ」をしっかりと読む時間をとっていますか？	チェック
	解決策	特に太字部分は重要。覚えるだけでなく自分で説明できるか親御さんが確認してあげてください	□
	チェック5	社会の勉強はしっかりやっているのにマンスリーが悪い、という状況になっていませんか？	チェック
解決策	テストに対応できない勉強の原因を突き止める必要があります	□	